

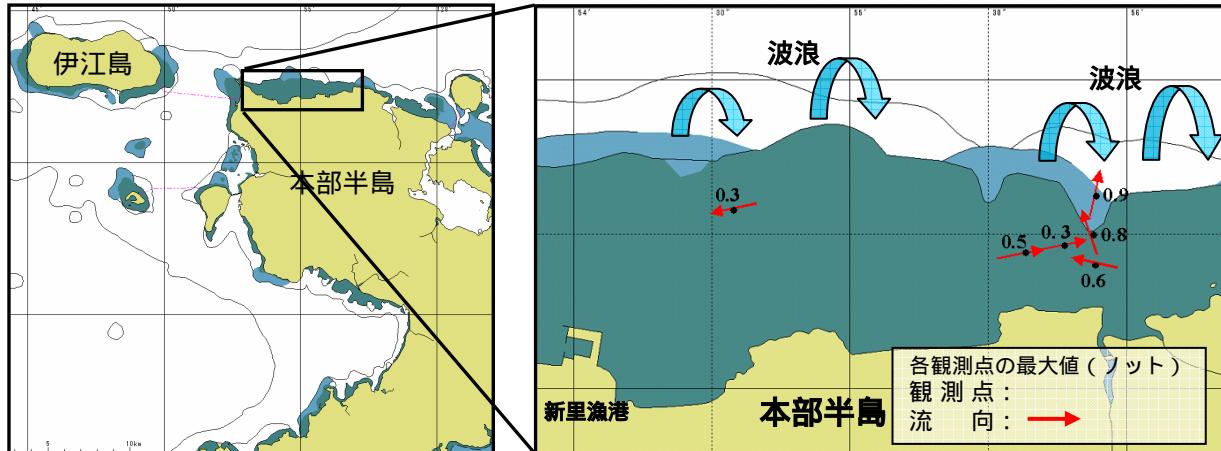
本部半島北岸付近リーフ内で強い流れを観測！ ～潮流観測速報～

今年7～8月に本部半島北東岸付近において潮流観測を実施し、リーフ内で**リーフカレント**と思われる強い流れを観測しました。当該海域は、サーフィンや潮干狩りなどが盛んな海域ですが、これらマリンレジャーを楽しむ際は、十分な注意が必要です。

観測概要

1. 観測海域
本部半島北岸付近
2. 観測方法
(1) 海底設置型流速計を使用した
17日間の流れと水温観測
(2) DGPS漂流ブイを使用した海面付近の
流れ観測
3. 観測期間
平成19年7月21日 から
平成19年8月 7日 まで(17日間)
4. 結果の公表
現在観測結果を解析中ですが、その結果はインターネットを通じ観測報告として、公開します。
十一管区海上保安本部ホームページ上
(下記参照)にて公開予定です。

インターネットアドレスは、
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/>



・観測結果

本部半島北岸付近の観測ポイント(上図参照)において、約0.3～0.9ノットの強い流れが観測されました。

この海域では、北よりの風が強い日やうねりの高い日など、波が珊瑚礁を乗り越えてくるようになると、珊瑚礁内の水位は通常より高くなることから普段よりも速い潮流が観測されたものと想定されます。

珊瑚礁内または珊瑚礁の切れ目付近では、潮の満ち引きによって起きる流れだけではなく、波の打ち込み等によっても起きるので、特に風の強い日や波やうねりの高い日には十分な注意が必要です。

(1ノット : 時速1.852km、1分間で約30m流される速さに相当)

(注)上図の流れは、潮の干満による流れに波浪など、他の要素が加わっています。